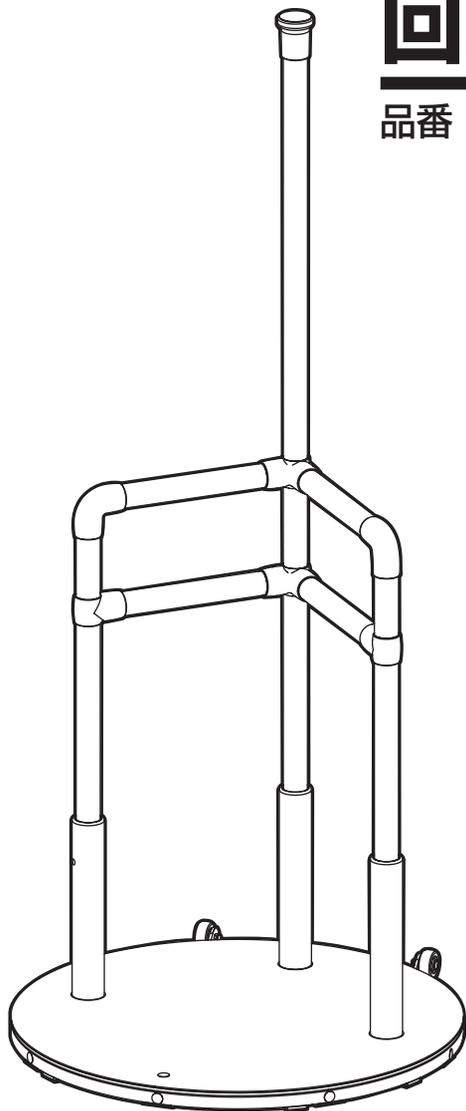


たちあっぷ[®]ひざたちち[®]C 回転式 たててすり

品番：CKL-03



たちあっぷ ひざたちち C 回転式 たててすり
CKL-03

目次

！ 安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. ご使用方法	4
3. 設置上のご注意	8
4. 仕様	9
5. 部品表	9
6. 組立手順	12
7. ロック機構メンテナンス方法	19
8. ご使用前の確認	20
9. お手入れ方法	21

ご購入ありがとうございます

「たちあっぷ ひざたちち C 回転式 たててすり」は寝室やトイレなどでの立ち上がり補助・姿勢保持・移乗補助をする用具です。

販売店様：この説明書は必ずお客様に説明してからお渡してください。

ご利用者様：使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

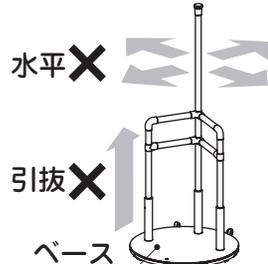
※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

<p>警告</p>	<p>誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。</p>		<p>してはいけない内容です。</p>
<p>注意</p>	<p>誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。</p>		<p>必ず行っていただく内容です。</p>

1. 使用上のご注意

警告

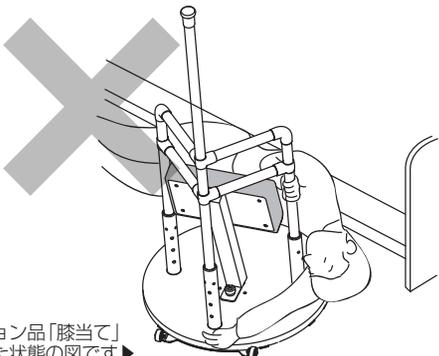
- **立ち上がり補助・姿勢保持・移乗補助以外の用途では使用しない。**
目的以外の使用をすると事故やケガの原因になります。
- **手すりフレームに腰掛けたり、物を置いたりしない。**
本来の使用用途以外の使い方をすると、本体が倒れるなどの事故のおそれがあります。
- **ベースに乗っていない状態で必要以上に水平方向に力を加えない。また、手すりを引抜く方向に力を加えない。**
手すりに力をかけた際にベースが持ち上がり、床とのすき間が生じるような使用はしないでください。
手すりを持ち、床面に向かって押し付ける方向に力をかけてください。



- **子供を遊ばせるなど遊具として使用しない。**
本体が倒れたり、手をはさむなど想定外の事故のおそれがあります。
- **手すりフレームのすき間や、膝当て(オプション品)の間に頭や手、脚を入れない。**
はさまった場合などにケガ・骨折や窒息の重大事故につながるおそれがあります。
- **本体とベッドの間や、本体と便器の間などに身体を入れない。**
はさまった場合などにケガ・骨折や窒息の重大事故につながるおそれがあります。



オプション品「膝当て」を付けた状態の図です▶



オプション品「膝当て」を付けた状態の図です▶

- **車輪側から使用しない。**
ご利用の際は車輪を必ず壁側（利用者の回転範囲に干渉しない位置）に向けて設置してください。回転の際に利用者のかかと部分が車輪に当たりケガをするおそれがあります。

必ず守る

- **必ず介護者が付き添った状態で使用する。**
介護者が一時的に目を離したりする際は利用者の安全を十分ご確認の上でご対応ください。
- **固定式ではないため、設置後の安定性、利用者の身体状況を確認の上で使用する。**
- **利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止する。**
ご使用を再開する場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。
- **本体や床面が濡れている場合は水分を拭き取って使用する。**
滑って転倒するおそれや、製品が変色する場合があります。特にベースは水分を拭き取って使用してください。
- **使用の際は、必ず本体のベースに体重が掛かった状態で手すりに力を加える。**
- **車いすで使用の際は、必ず車いすのブレーキをかける。**
車いすが動いて転倒するおそれがあります。

⚠ 注意



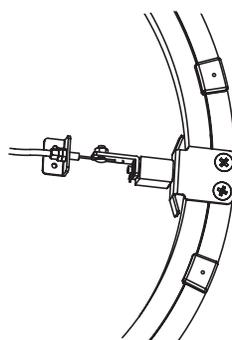
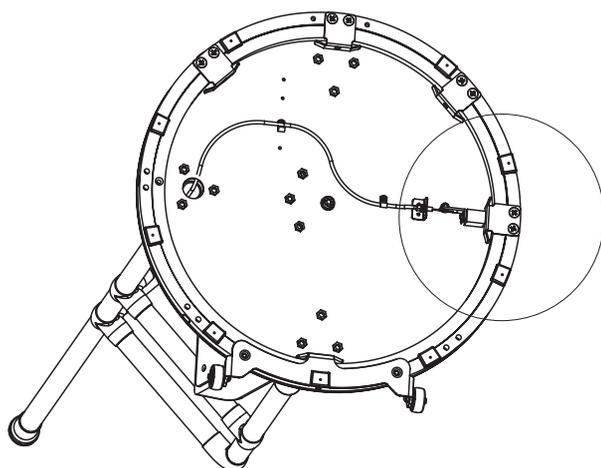
禁止

- 2人以上同時に使用しない。
本製品は、1人用です。
- 利用者体重が100kgを超える場合は使用しない。
使用中に破損するおそれがあります。
- 車いすで使用の際は、車いすをベースに乗り上げた状態で使用しない。
車いすがベースに乗り上げた状態で使用すると、不安定になり転倒の原因になります。
- 濡れた手・脚・靴底で使用しない。
滑って転倒するおそれがあります。

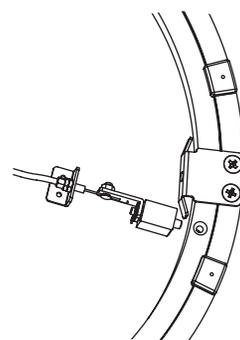


必ず守る

- 使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。
ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。
- 平らな床面に設置し、ガタつきがない状態を確認して使用する。
ガタつきがある状態で使用した場合、回転機構に支障が出る場合があります。
- 本製品を使用する時は、縦手すりに顔や頭をぶつけないように注意して使用する。
- 回転ロックの解除とベースの回転は必ず介護者が行う。
- 利用者がベースに乗って回転する際以外は必ずベースの回転をロックする。
ベースがロックされていない状態で使用すると破損やケガ、事故の原因になります。利用開始時にロックがかかっていることを確認してください。
- 裏面が平らなスリッパや厚手の靴下の使用は滑る場合があるので注意する。
- ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。使用中にマットがめくれたり、たるみがあった場合は整えてから使用する。
マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。また、マットにめくれやたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。
- すり足で歩くとマットがめくれる場合があるので注意する。
常時すり足でご使用になる場合は転倒に注意してください。
- 移動させる場合は、ねじのゆるみがないか、ベースの回転機構がロックされているかを確認する。
ベースが落下するおそれがあります。ねじをしっかり締め、回転機構がロックをした状態で移動してください。



回転をロックした状態



ロックを解除した状態

 必ず守る	<p>● 車輪で移動させる場合は本体を傾け、車輪が床面に接した状態で移動させる。(P5 本体の移動方法 参照) 車輪を使って移動させる際は、両手で手すりを持って傾け、車輪が床面に接したことを確認し、床面の状態や周囲の状況を確認して移動してください。 無理に引きずりますと床面を傷つけたり、ベースキャップが摩耗するおそれがあります。また、段差にぶつかるなど衝撃が加わった際にベースキャップが折れ、ベースが床に接して床を傷つけたり、本体のバランスが悪くなるおそれがあります。</p>	
	<p>● 本体を持ち上げて移動させる場合は、ベース、もしくはスタンド部を持って移動させる。 手すりを持ち上げますとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。ねじをしっかりと締めた状態でベース、もしくはスタンド部を持って移動してください。</p>	
	<p>● 車輪の上に乗らない。また、車輪につまつかないように注意する。</p>	
	<p>● 結露した場合は乾いた布などで拭き取る。 室内環境によって金属部品に結露が発生する場合があります。滑って転倒の原因や、床面などにカビを発生させる原因になりますので常に拭き取ってご使用ください。</p>	
	<p>● 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。 正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>	

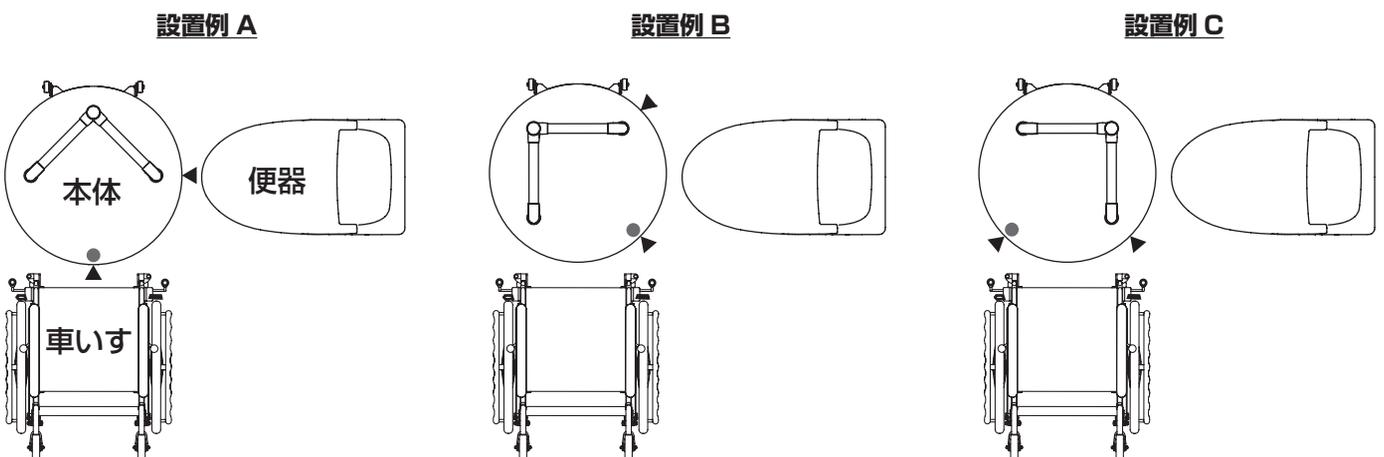
2. ご使用方法

「たちあがひざたちC 回転式 たててすり」は、本体がご利用者様を乗せたまま回転し、任意の位置で(45°間隔で3箇所まで)固定できる用具です。移乗時にご利用者が足の踏み変えをすることなく安心してご使用いただくことができます。縦手すりにより立ち上がりを補助し、前に倒れる心配がなく介助者の負担も軽減します。トイレや脱衣室・ベッドサイドでの「立ち上がり補助・姿勢保持・移乗補助」にご使用ください。

設置例

以下は、車いすから便器へ移乗する場合の設置例です。
 ご利用者の状態に応じて、手すりをつかみやすい向きに設置してください。

- …… 回転ロックピン位置
- ▲ …… 回転ロック金具Aの取付位置 (●と▲が合った位置で、自動で回転ロックピンが出て回転がロックされます)



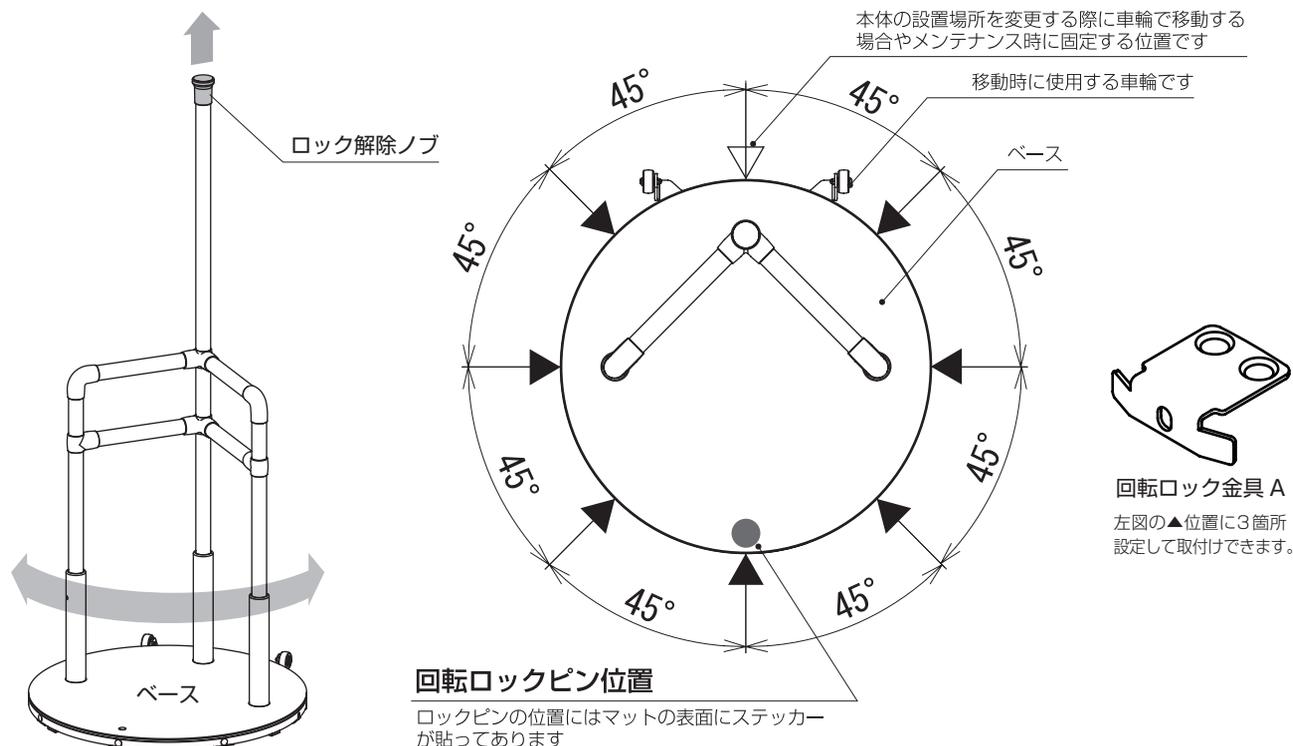
※上記、設置例について
 ・「たちあがひざたちC 回転式 たててすり」の手すりの向きは、ご利用者様が車いすに乗っている状態での向きを表します。
 ・回転ロック金具Aを2箇所取り付けただけの例になります。車いすから便器まで90°回転する中間にロック場所を追加するなど、全部で3箇所までロック位置を設定できます。

□ 回転の操作方法

縦手すり上部にあるロック解除ノブを上げると回転ロックピンが解除されます。ロック解除ノブを上げながらベースを回転させてください。

固定位置（●と▲が合った位置）で自動で回転がロックされます。固定位置は下図▲の箇所(角度45°ごと)に「回転ロック金具A」を取り付けることで3箇所まで位置設定が可能です。

ご利用者の移乗動作に合わせ金具の取付箇所を設定してご使用ください。車輪の間にある固定位置△は、▲の3箇所とは別に、本体の設置場所を変更する際の移動時に固定する位置です。この固定位置は移乗動作では使用しません。



⚠ 注意



必ず守る

●回転させる際には、利用者の安全を確保しながらゆっくり回す。

早く回転させると利用者が転倒するおそれがあります。

●利用者のかかどがベースからはみ出していないことを確認する。

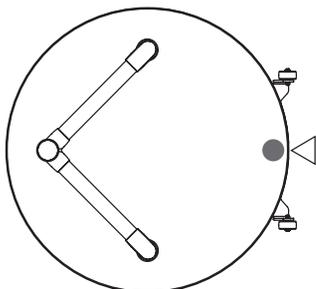
回転した時に、かかどが車いすの車輪などに当たりケガをするおそれがあります。

□ 本体の移動方法

重量がありますので車輪を使って移動させると便利です。車輪を使って移動する場合は、本体を傾けて、車輪が床面に接した状態で移動させてください。

① まず、下図の位置で回転をロックします。

② 両手で手すりを持って傾け、車輪が床面に接したことを確認して移動してください。



⚠ 注意



必ず守る

●移動のため本体を傾ける場合は、必ずベースを踏みながら、両手で手すりを持ってゆっくりと傾ける。また、設置する際にもベースを踏みながらゆっくりとおろす。

傾ける、移動する際には脚の上に本体を倒したり、落としたりしないように注意してください。

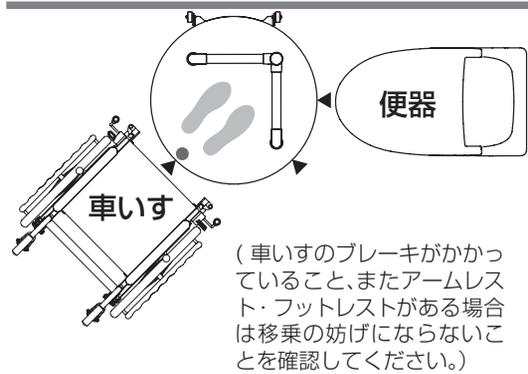
●縦手すりのみを持たず、縦手すりと横手すりを両手で持ち、傾けて移動をする。

□移乗介助の例①（車いすからトイレへ）

車いすからトイレへの「移乗介助」手順の一例です。（ロック3箇所の例です）

※実際の動作は、ご利用者様の状態や利用状況に合わせてご使用ください。車いすは必ずブレーキをかけてご使用ください。

- 1.** 本体の車輪がご利用者様・介助者の移乗の妨げにならないように、また壁側になるように置きます。



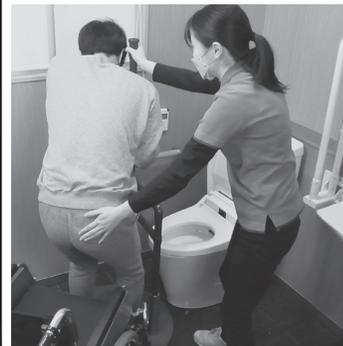
- 2.** ご利用者様の足をベースの上に置き、縦手すりを握ってもらいます。かかとがベースからはみ出していないことを確認してください。



- 3.** 介護者は、ご利用者様の下半身を支えます。ご利用者様に手すりですて体を支えてもらいながら車いすに浅座りしてもらいます。



- 4.** ご利用者様が手すりですて体を支えていることを確認して立ち上がさせます。介護者は縦手すりの上部にあるノブを上げて回転ロックを解除します。ご利用者様の下半身を支えながら、まわりの障害物等に気をつけて回転させます。



回転ロック解除

- 5.** 設定したロック位置(便器までの中間位置)で自動で回転ロックします。ご利用者様に縦手すりですて体を支えてもらいながら下着をおろします。



- 6.** ロックを解除し、さらに回転させ、移動先に着いたら回転ロックが掛かったことを確認し、ご利用者様の下半身を支えながらゆっくりと便座に腰を掛けてもらいます。

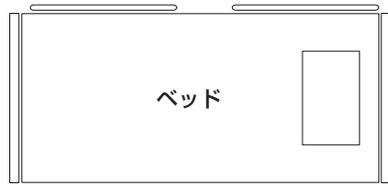


□移乗介助の例②（ベッドから車いすへ）

ベッドから車いすへの「移乗介助」手順の一例です。（ロック2箇所の例です）

※実際の動作は、ご利用者様の状態や利用状況に合わせてご使用ください。車いすは必ずブレーキをかけてご使用ください。

- 1.** 本体の車輪が、ご利用者様・介助者の移乗の妨げにならないように置きます。



（車いすのブレーキがかかっていること、またアームレスト・フットレストがある場合は移乗の妨げにならないことを確認してください。）

- 2.** ご利用者様の足をベースの上に置き、縦手すりを握ってもらいます。かかとがベースからはみ出していないことを確認してください。



- 3.** 介護者は、ご利用者様の下半身を支えます。ご利用者様に手すりですて体を支えてもらいながらベッドに浅座りしてもらいます。



- 4.** ご利用者様が手すりですて体を支えていることを確認して立ち上がらせてます。介護者は縦手すりの上部にあるノブを上げて回転ロックを解除します。



回転ロック解除

- 5.** ご利用者様の下半身を支えながら、まわりの障害物等に気をつけて回転させます。

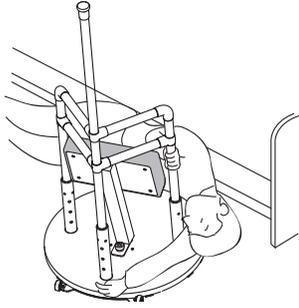
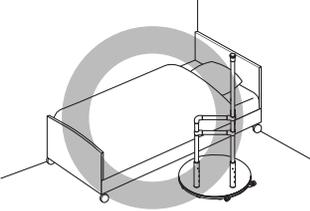
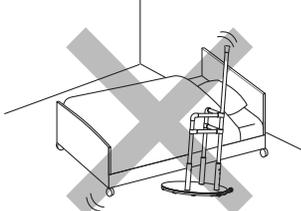


- 6.** 移動先に着いたら回転ロックが掛かったことを確認し、ご利用者様の下半身を支えながらゆっくりと車いすに腰を掛けてもらいます。



3. 設置上のご注意

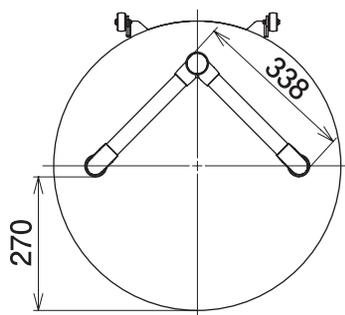
⚠ 警告

 禁止	<p>● 弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。</p>
	<p>● 改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因になります。</p>
 必ず守る	<p>● 設置後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを確認する。 取付けが不安定な状態で使用すると破損や事故、ケガの原因になります。</p>
	<p>● ベッドの横に置く場合は、「たちあっぷ ひざたち C 回転式 たててすり」と寝具とのすき間に頭や首、手、脚を入れないように注意する。 身体をすき間にはさむと窒息や骨折などの重大事故につながるおそれがあります。</p> <p style="text-align: center;">オプション品「膝当て」を付けた状態の図です▶</p> <div style="text-align: right;">  </div>
	<p>● キャスター付きのベッドで使用する場合は、必ずキャスターを固定する。 キャスターにロック機構がある場合は必ず使用してください。ロック機構がない場合には、キャスターホルダーを使用するなど、必ずベッドが動かないように固定してください。(ベッドは壁に接するように設置すると安定します)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p>● 電動ベッドで使用する場合は、頭や手、脚がはさまった状態で操作すると、身体の傷害や生命にかかわる事故を発生させるおそれがあるので注意する。 電動ベッドで使用する場合は、利用者の身体がはさまらない安全な間隔で設置してお使いください。また、電動ベッドの手元スイッチは無意識に触れて誤操作しないように置く場所には十分注意してください。</p>	

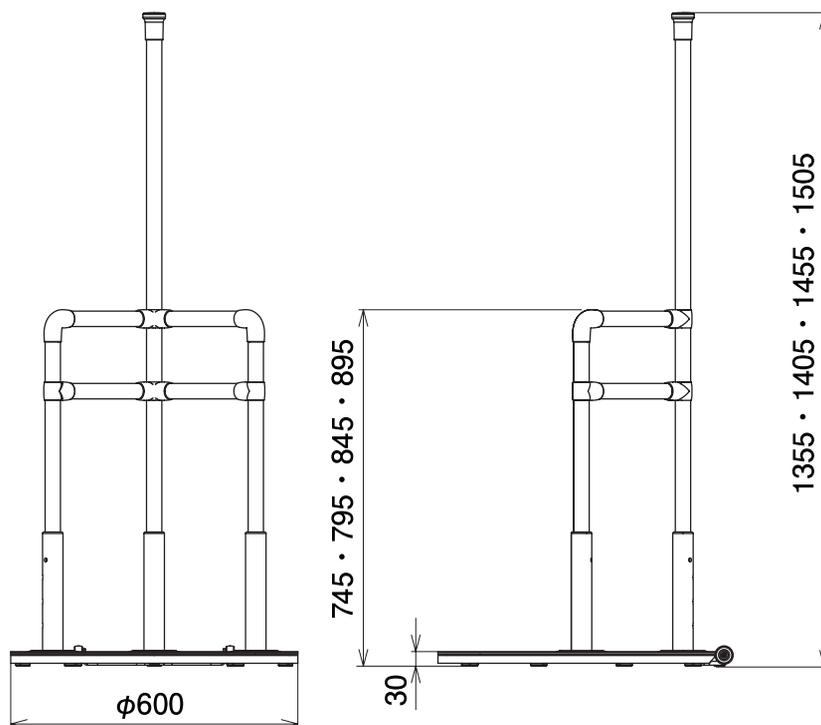
⚠ 注意

 禁止	<p>● 指定締め付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。「6. 組立手順」で示すトルク値にしたがって締め付けてください。</p>
	<p>● 電動工具(電動ドライバー等)を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)</p>
	<p>● 屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。</p>
	<p>● 火のそば・熱器具(ストーブ等)の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。</p>
	<p>● 浴室・浴そう内では使用しない。</p>
 必ず守る	<p>● 室内で使用する。</p>
	<p>● 平らな床面に設置し、ガタつきがない状態を確認して使用する。</p>
	<p>● 定期的(推奨点検期間1カ月ごと)にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・その他異常がないことを確認する。</p>
	<p>● クッションフロア材(塩化ビニル製)などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合があるので注意する。</p>

4. 仕様



品名	たちあっぷ ひざたちC 回転式 たてすり
品番	CKL-03
質量	20.8 kg

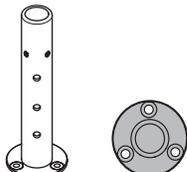
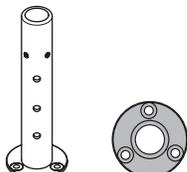
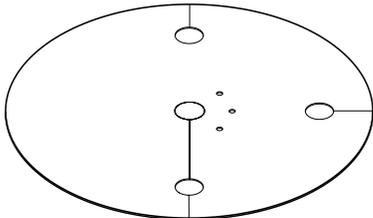
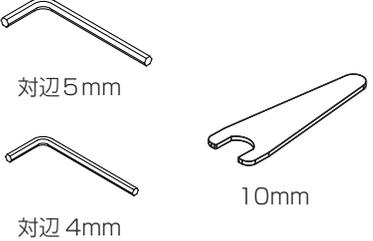


単位：mm

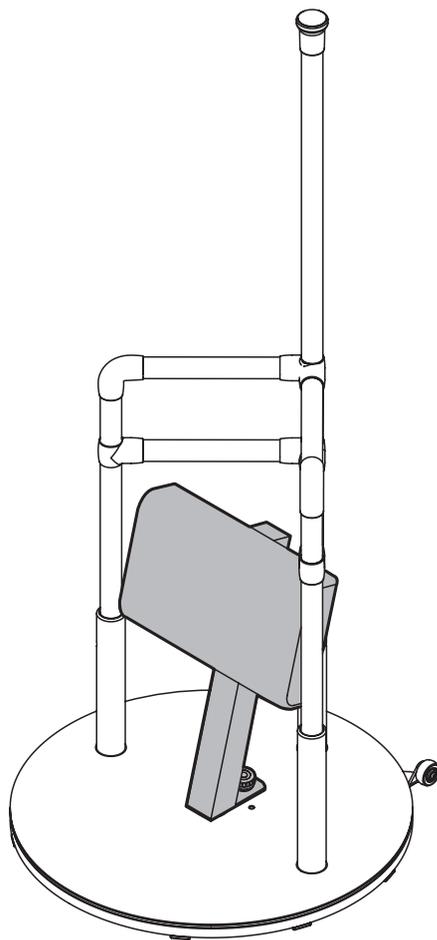
5. 部品表

- 部品が全て揃っているかご確認ください。
- 部品が揃っていない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

名称	材質	部品図	数量
① 縦手すりフレーム	ジョイント：プラスチック パイプ：プラスチック被覆スチールパイプ ワイヤー：ステンレス		1
② ベース	本体：ステンレス・アルミ 車輪：プラスチック		1

	名称	材質	部品図	数量
③	スタンド32	ステンレス		2
④	縦手すり用スタンド (注意喚起ステッカー付)	ステンレス		1
⑤	マット	プラスチック		1
⑥	回転ロック金具 A	ステンレス		3
⑦	ケーブルクリップ	プラスチック		2
⑧	座金組込十字穴付き なべ小ねじ (M4×8 mm)	ステンレス		2
⑨	六角穴付き皿ねじ (M8×15mm)	ステンレス		15
⑩	六角穴付き止めねじ (M10×36 mm)	ステンレス		3
⑪	六角穴付き止めねじ (M8×5 mm)	ステンレス (黒)		6
⑫	付属工具 ・六角レンチ (対辺5mm・4mm) ・スパナ (10mm)	スチール		各 1

※オプション品のご案内



名称	品番	図	説明
膝当て	CKL-HA		<p>クッション付きの「膝当て」により脚の筋力が低下しているご利用者様でも膝折れの心配がなく安心して立ち上がりや立位保持が可能となります。</p>

◇オプション品の詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意



必ず守る

●オプション品を取り付けて使用する場合は、オプション品の取扱説明書も合わせて確認する。

6. 組立手順

※組立は納入業者が行ってください。

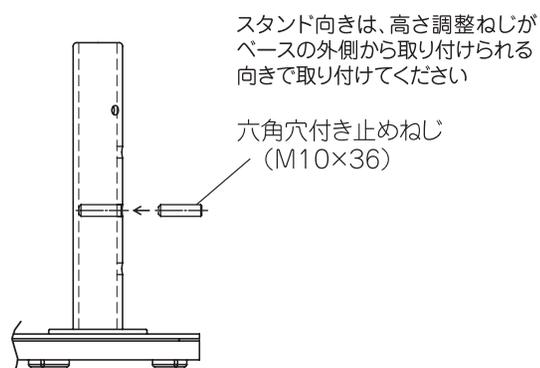
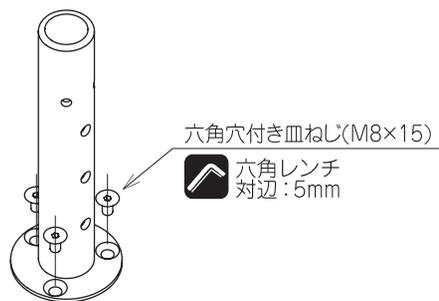
必要工具：ペンチ、プラスドライバーNo.2 をご用意ください。

6-1. ベースとスタンドの取付け

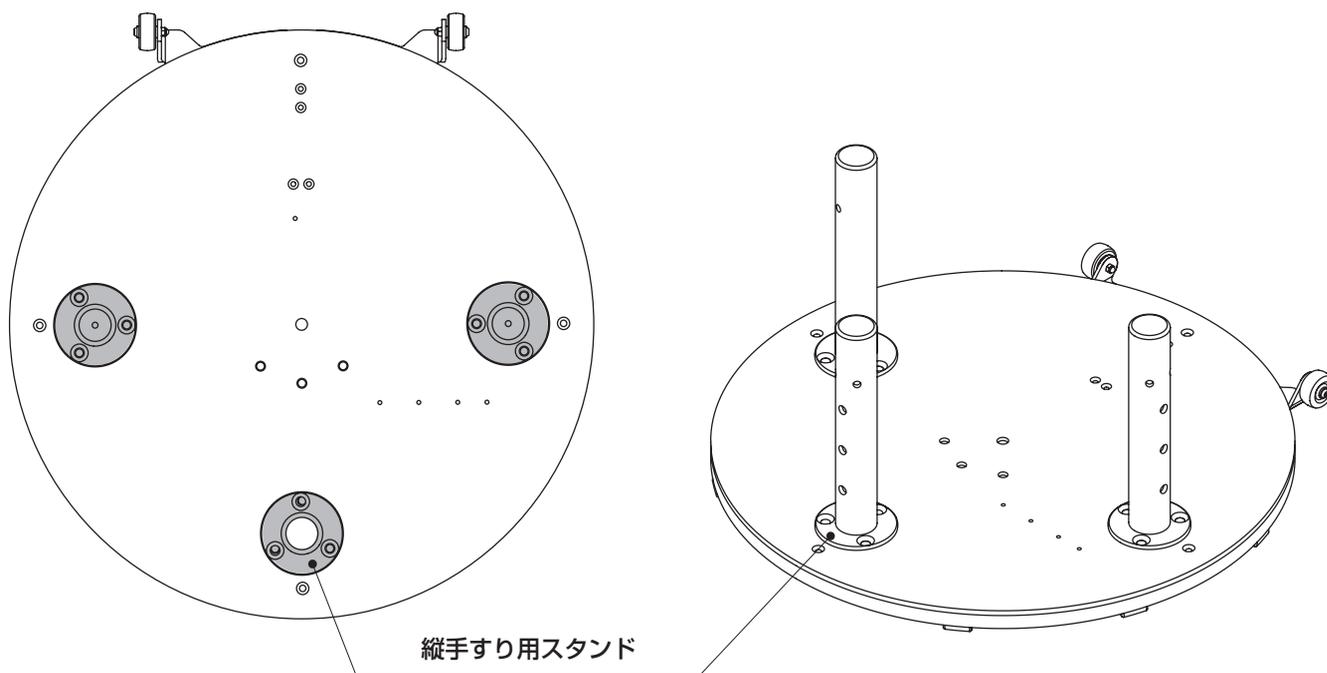
スタンド取付位置を確認し、スタンドの上側から六角穴付き皿ねじ 3 本でスタンドを取り付けてください。

六角レンチで仮止めの状態にしておきます。

※取付位置は<スタンド取付位置図>をご参照ください。



<スタンド取付位置図>



※
スタンドの底に穴が開いています。
ステッカーが内側になるような向き
に取り付けてください。

⚠ 注意



必ず守る

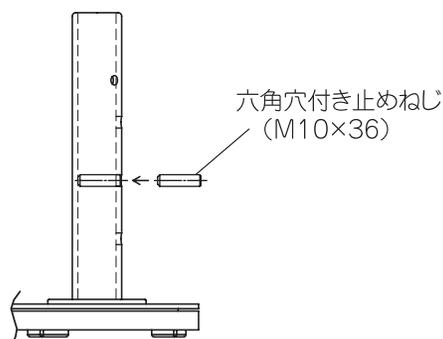
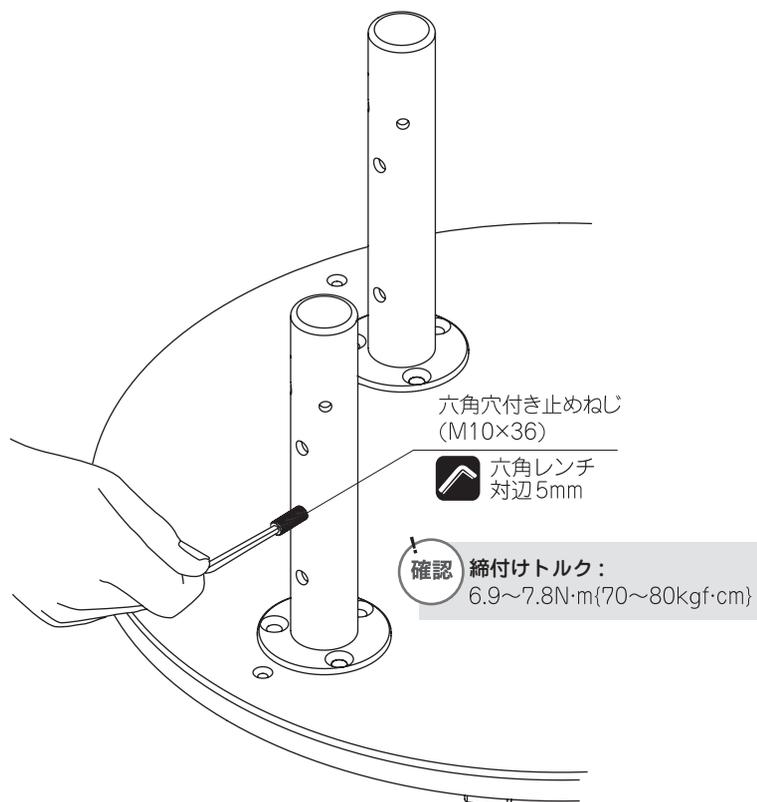
●スタンド・ベース及び手すりフレームは必ず指定の位置に指定のねじで固定する。

●ねじは、ねじ穴に対してまっすぐ締め付ける。
無理に締め付けるとねじ山が破損します。

6-2. 手すりフレームの高さ調整

手すりフレームの高さは、<手すりフレームの高さ>の範囲で4段階の位置決めができます。

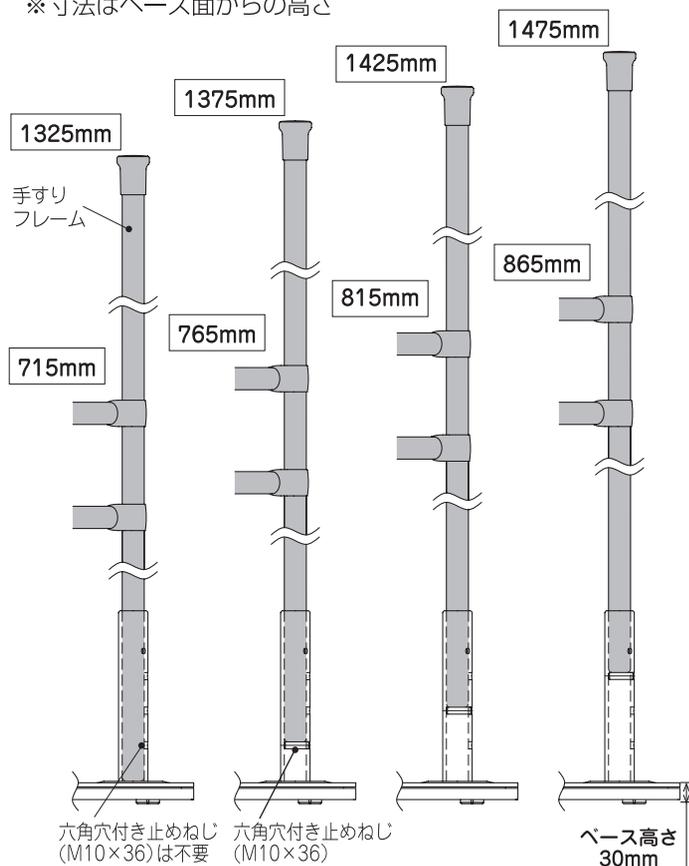
手すりフレームの高さを決め、高さ調整ねじ穴に六角穴付き止めねじを六角レンチで締め付けてください。奥まで締め付け、スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。



⚠ 注意	
<p>●ワイヤーを通した後に高さ調整を行う際には六角穴付き止めねじでワイヤーをつぶさないように注意する。</p>	<p>ワイヤー</p>
<p>⚠ 必ず守る</p>	

<手すりフレームの高さ>

※寸法はベース面からの高さ



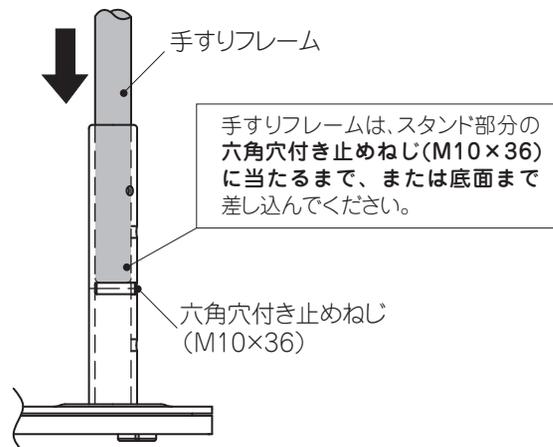
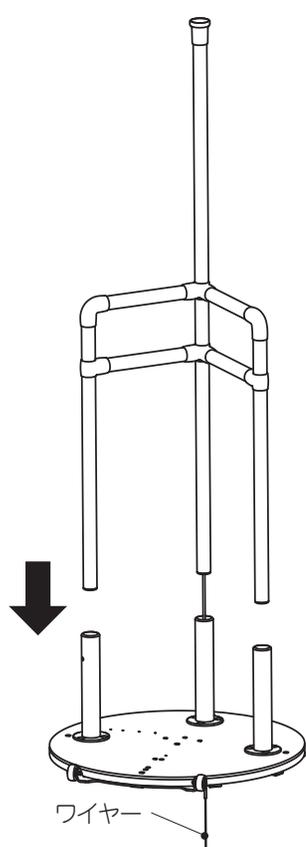
⚠ 注意	
<p>⊘ 禁止</p>	<p>●電動工具(電動ドライバー等)を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。(ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります)</p>
<p>⚠ 必ず守る</p>	<p>●六角穴付き止めねじ(M10×36)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。</p>

6-3. 手すりフレームの取付け

縦手すり部の下から出ているワイヤーをスタンドに通し、ベース裏側から出るように手すりフレームをスタンドに差し込んでください。

スタンド底面（手すりフレーム高さが最低高さの場合）、または、六角穴付き止めねじ（手すりフレーム高さが最低高さ以外の場合）に確実に当ててください。

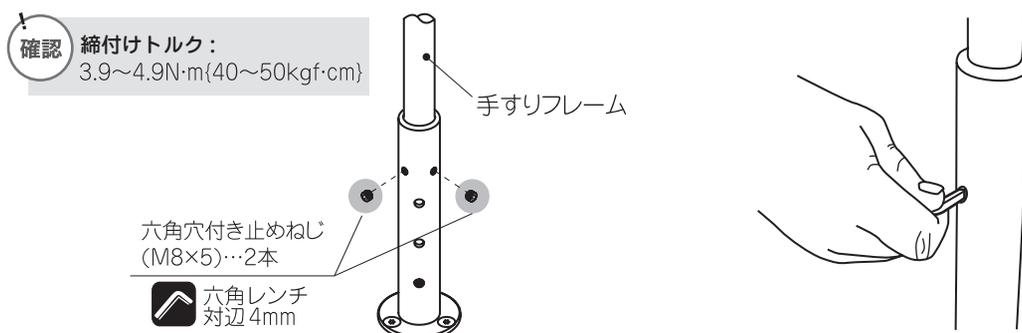
手すりフレームの高さは全て同じになるように、六角穴付き止めねじの位置を決めてください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●手すりフレームの高さは全て同じになるように設定する。 ●手すりフレームはスタンド底面（手すりフレーム高さが最低高さの場合）、または六角穴付き止めねじ（M10×36）（手すりフレーム高さが最低高さ以外の場合）に当たるまで差し込む。 差し込みが不十分ですと、ガタつきの原因になります。

6-4. 手すりフレームの固定

手すりフレームを差し込んで、六角穴付き止めねじ（2カ所）を六角レンチで締め付け、手すりフレームを固定してください。スタンド面からねじ頭が出ていないことを確認してください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●六角穴付き止めねじ(M8×5)のねじ頭がスタンド面から出ていないことを確認する。 ケガの原因になります。

※繰り返し手すりフレームの高さ調整をした場合、フレームに傷や六角穴付き止めねじ（M8×5）の取付け跡が見える場合があります。

6-5. 六角穴付き皿ねじの締付け

6-1で行った仮止め状態の六角穴付き皿ねじ(M8×15)を六角レンチにて確実に締付けてください。



⚠ 注意



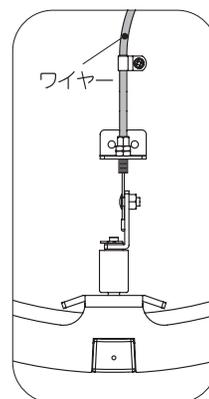
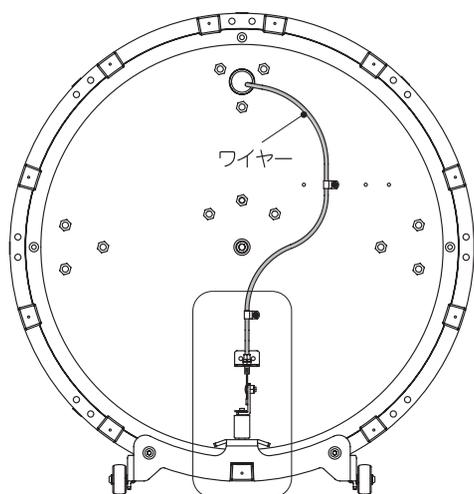
必ず守る

●組み立て後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。
事故やケガの原因になります。

6-6. ワイヤーの取付け

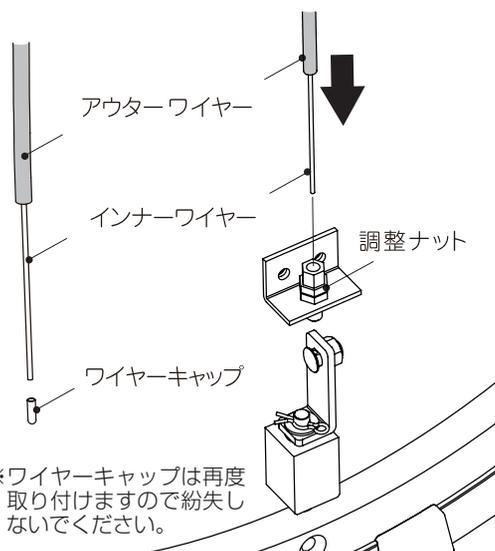
下のようにワイヤーを取り付けて固定します。

- ①ベース裏面にワイヤーを取り付けできるようにゆっくりと本体を横に寝かせてください。
作業する床面にシートなどを敷いて作業するとキズ防止になり安心です。

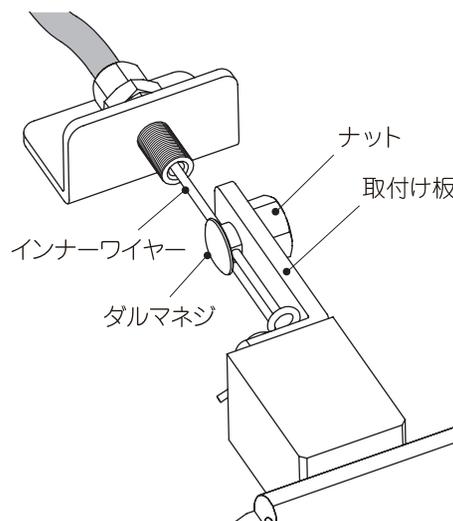


<ワイヤー取付完成図拡大>

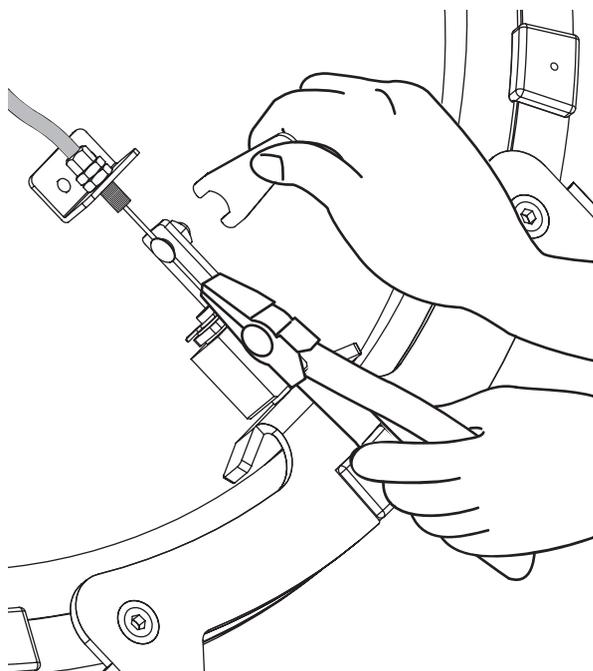
- ②ベース裏から出ているワイヤーの先端に付いているワイヤーキャップを取り外し、アウターワイヤーを調整ナットの奥に当たるまで差し込んでください。



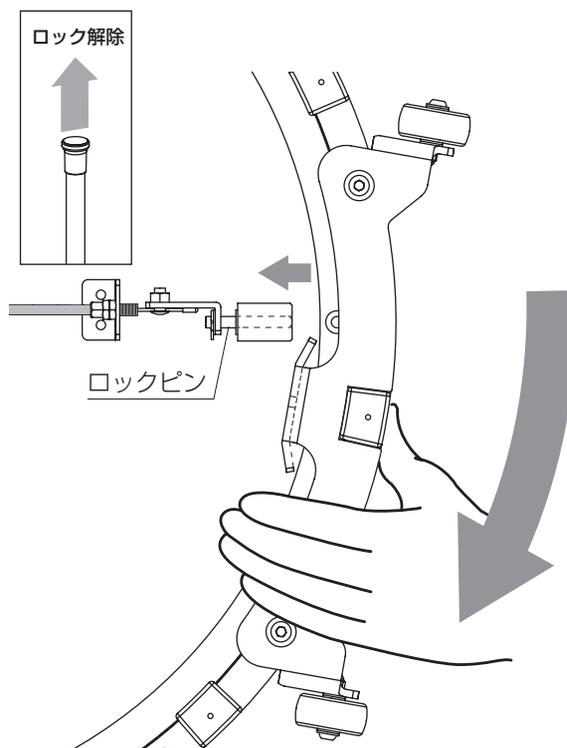
- ③ダルマネジにインナーワイヤーを通し、ナットで締付けて仮止めしてください。



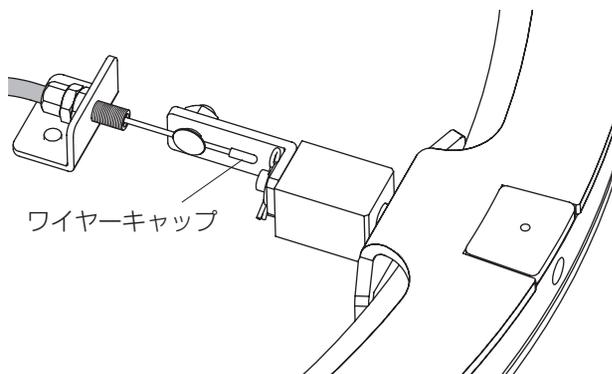
④ペンチでワイヤーを強く引っ張りながら、スパナでナットを締めて、インナーワイヤーを固定してください。



⑤ロック解除ノブを引っ張った際に、ロックピンが抜けてロックが解除され、ベースが回転する動きを確認してください。



⑥先ほど外したワイヤーキャップをインナーワイヤーの先端にはめてください。



ワイヤーキャップ

⚠ 注意

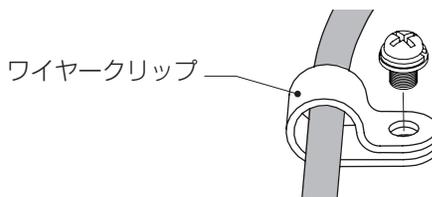
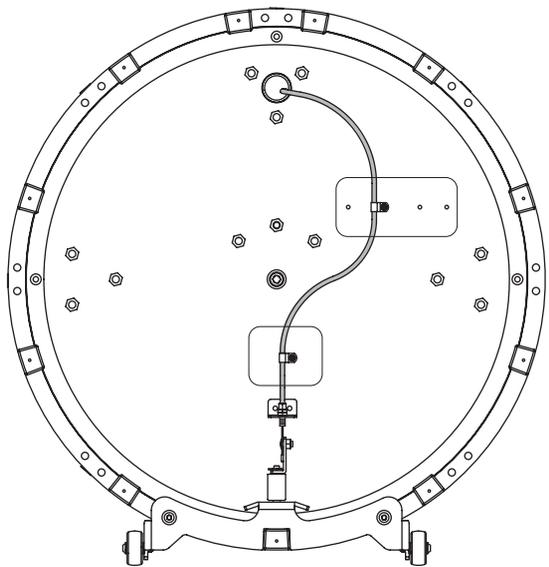


必ず守る

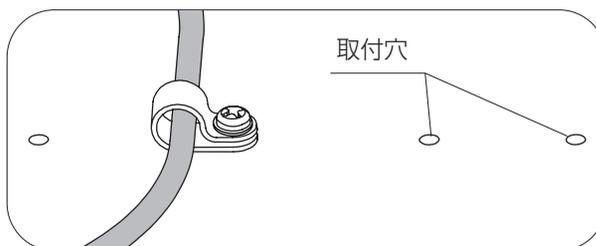
●ロック箇所ですべて確実に回転ロックが掛かることを確認する。

6-7. ワイヤーをベースに固定

下の2箇所をワイヤークリップを使って、座金組込十字穴付きなべ小ねじ (M4 × 8) をプラスドライバーで固定してください。



手すりフレームの高さ設定により、ベース裏側から出るワイヤーの長さが変わります。ワイヤーが床に付いてしまわないように、長さが合う取付穴にワイヤークリップを固定してください。

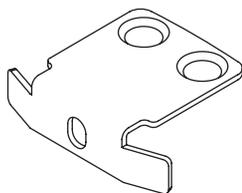


確認 締付けトルク：
0.8 ~ 1.2N・m (8.1 ~ 12.2kgf・cm)

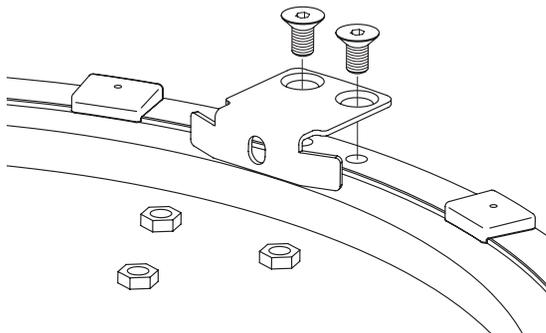
⚠ 注意	
! 必ず守る	● 組み立て後、ガタつき・ねじのゆるみがないことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。

6-8. 回転ロック金具の取付け

回転ロック金具 A を取り付けした位置でベースの回転がロックします。ロック位置は 45° 間隔で設定できます。



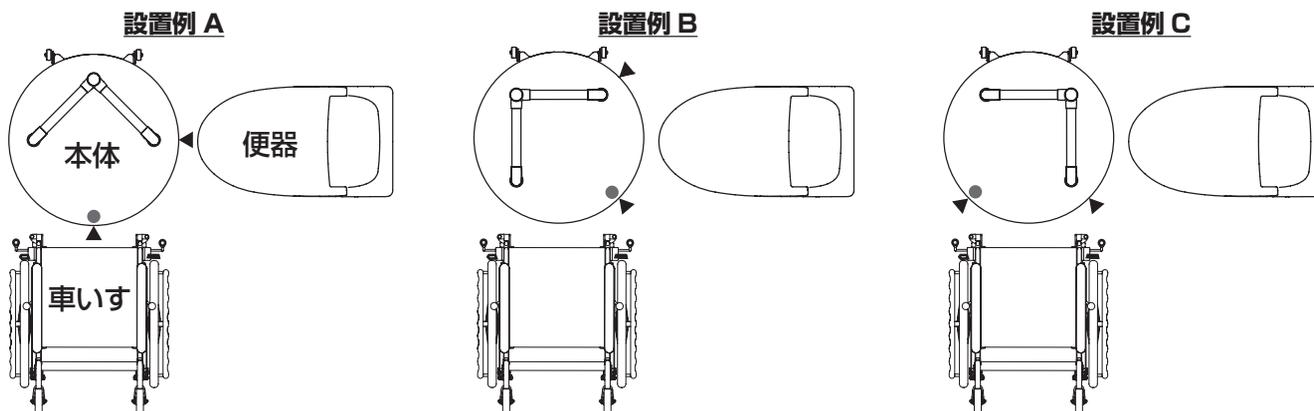
回転ロック金具 A



設置例

以下は、車いすから便器へ移乗する場合の設置例です。
ご利用者の状態に応じて、手すりをつかみやすい向きに設置してください。

- …… 回転ロックピン位置
- ▲ …… 回転ロック金具 A の取付位置 (●と▲が合った位置で、自動で回転ロックピンが出て回転がロックされます)

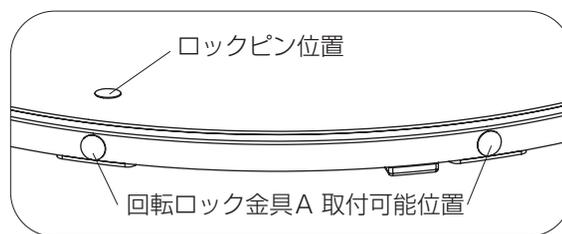
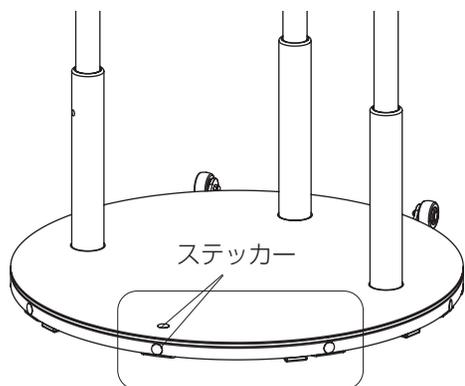


※上記、設置例について

- ・「たちあっぷ ひざたち C 回転式 たてすり」の手すりの向きは、ご利用者が車いすに乗っている状態での向きを表します。
- ・回転ロック金具 A を 2箇所取り付けした例になります。車いすから便器まで 90° 回転する中間にロック場所を追加するなど、全部で 3箇所までロック位置を設定できます。

①回転ロック金具 A の取付位置は、前ページの**設置例**を参考にしながら、手すりの向きやご利用者の移乗動作に合わせて決定してください。

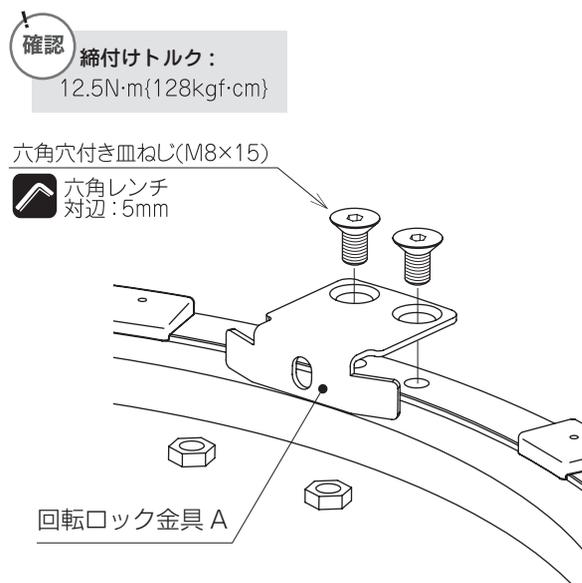
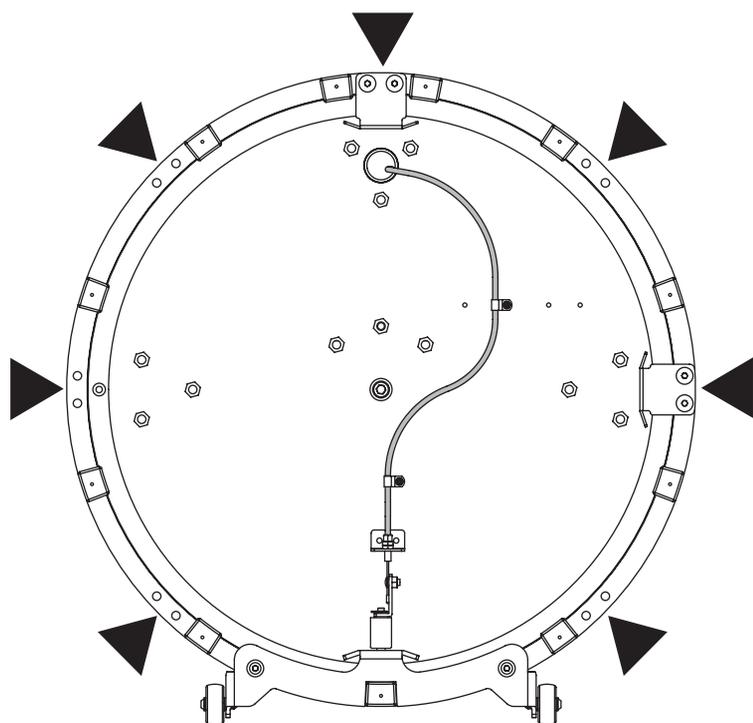
ベース「上面」には、裏側にロックピンがある位置を示す目印として、○ステッカーが貼られています。また、ベース「側面」には、回転ロック金具 A が取り付けられる位置を示す目印として、○ステッカーが貼られています。回転ロック金具 A の取付位置の決定の目安にしてください。



②設置位置やご利用者の移乗動作を確認しながら、どの位置に回転ロック金具 A を取り付けるか特定し、取付位置の○ステッカーにペンでマーキングしてください。付属の回転ロック金具 A は3個ありますので3箇所までマーキングできます。

下図の▼位置が回転ロック金具 A が取付けできる位置になります。回転ロック金具 A をロックをさせたい場所に取り付けてください。

<回転ロック金具 A 取付可能位置図>

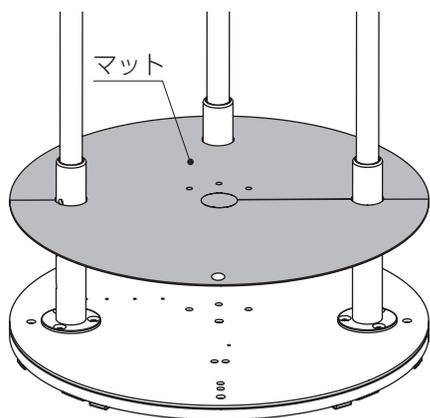


回転ロック金具 A の取付完了後に、ベース側面の○ステッカーが不要な場合は、はがしても構いません。

⚠ 注意	
<p>必ず守る</p>	<p>●組み立て後、ガタつき・ねじのゆるみがないことを必ず確認する。 事故やケガの原因になります。</p>

6-9. マットの取付け

マットにある3箇所の穴にスタンドを通し、全体にベースにかぶせるようにセットしてください。

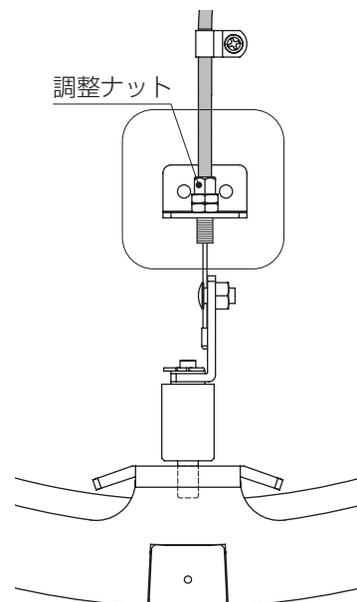
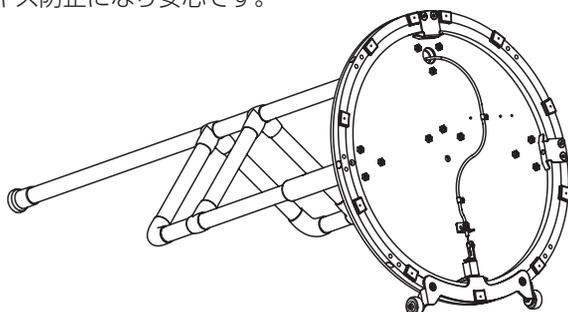


⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●「たちあっぷ ひざたちC 回転式 たてすり」のベースに貼り付ける以外の用途では使用しない。 ●重いものや鋭利なものを載せない。 跡が付いたり破れるおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。使用中にマットがめくれたり、たるみがあった場合は整えてから使用する。 マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。また、マットにめくれやたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。

7. ロック機構メンテナンス方法 (ロック解除ができない場合の調整方法)

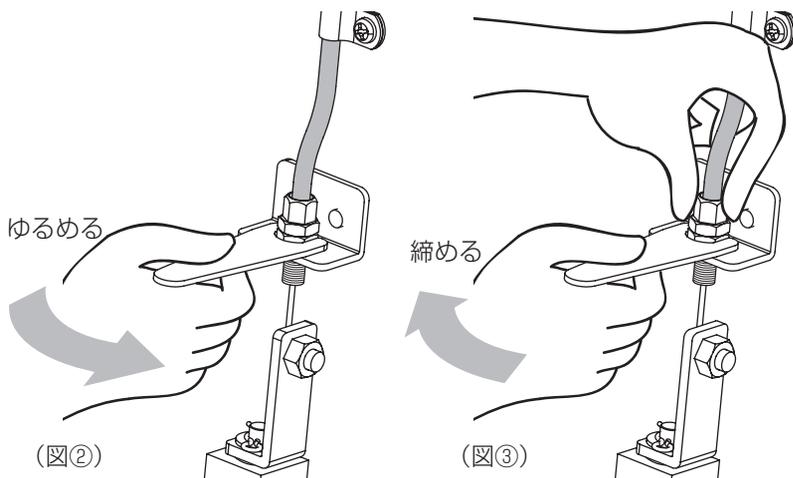
ベースの回転ロックが解除できなくなった(ロックピンが抜けない)際は、ベース裏面の調整ナットを調整します。

- ①まず、ベース裏面の調整ができるようにゆっくりと本体を横に寝かせてください。作業する床面にシートなどを敷いて作業するとキズ防止になり安心です。

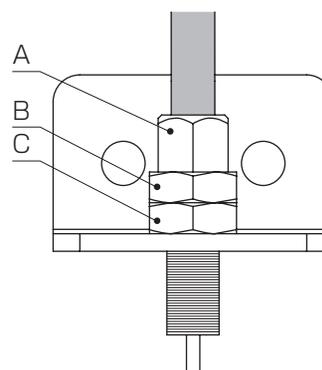


- ②付属工具の10mmスパナを使用し調整ナットCをゆるめてください。(図②)
ナット全体がゆるみます。

- ③調整ナットAを指で回らないように固定しながら調整ナットCを締めてください。(図③)
②、③を繰り返す、ロックピンが抜けてロックが解除されるように調整してください。



<調整ナット拡大図>



- ④ロックが解除されることを確認できたら、最後に回り止めとなる調整ナットBを締めて調整完了となります。

以上の調整を行ってもロック解除ができない場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

8. ご使用前の確認

！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

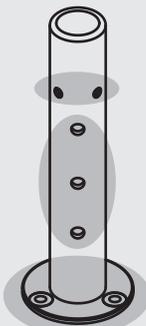
■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。

①

手すりフレームにガタつきはありませんか？
→ガタつきや異音がある場合は、スタンドの
ねじをしっかりと締め付けてください。
(該当ページ：P12～15)

チェック✓

【ねじ締め付け該当箇所】



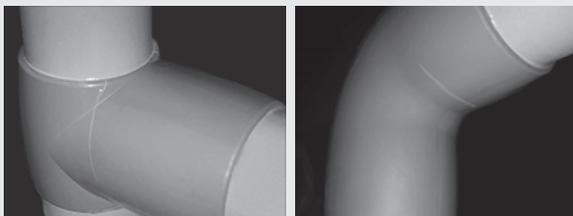
↓ ②の確認へ

②

全てのプラスチックジョイント部分に亀裂
(白い筋)などの異常はありませんか？
→異常があった場合はご使用を中止して、お買い
上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマ
ネジャーにご相談ください。

チェック✓

【白い亀裂】



※写真はたちあがら CKA シリーズの事例です

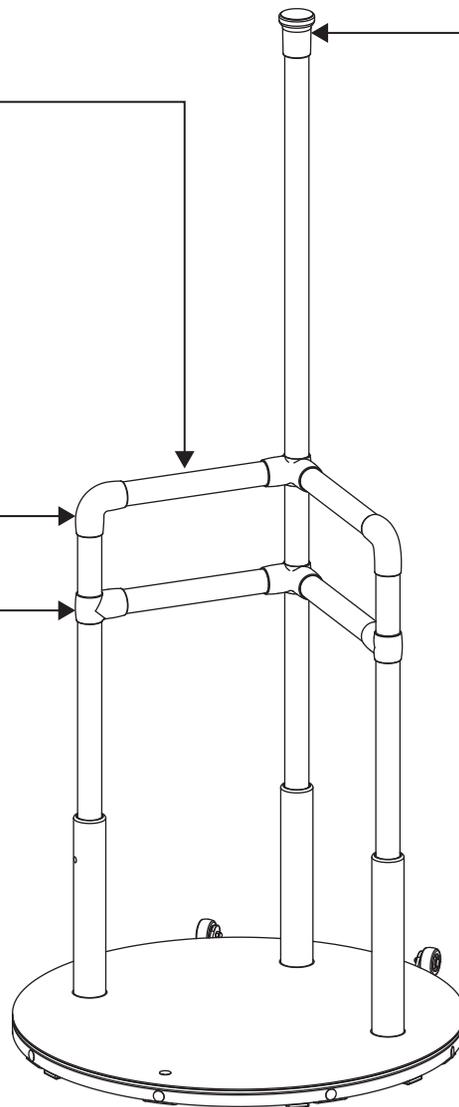
↓ ③の確認へ

③

回転ロック機構に異常はありませんか？
→ロック解除ができない場合はご使用を中止して、
ロック機構のメンテナンスを行ってください。
(該当ページ：P19)

チェック✓

→ロックができない場合はご使用を中止して、
お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマ
ネジャーにご相談ください。



上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

9. お手入れ方法

9-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠注意	
🚫 禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
❗ 必ず守る	● 直接水をかけて洗わない。 腐食や変質の原因となります。
	● 直射日光は避けて、陰干しする。

9-2. 点検

- 定期的(推奨点検期間1カ月ごと)に点検を行い、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・その他異常がないことを確認してください。
- 回転が悪くなった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠注意	
❗ 必ず守る	● 定期的(推奨点検期間 1 カ月ごと)にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

9-3. 消毒方法

- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考: 次亜塩素酸ナトリウム6%水溶液なら120倍～300倍程度に希釈)

⚠注意	
🚫 禁止	● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
❗ 必ず守る	● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

9-4. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。

⚠注意	
❗ 必ず守る	● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管しますと、変形、結合部の外れの原因になります。

保証書

お客様	お名前	様		
	ご住所	〒 -		
	電話	- -		
対象商品				
ロット番号				
お買い上げ日		(西暦)	年	月 日
販売店	住所			
	店名			
		電話	-	-

無料修理規定

1. 保証の適用

取扱説明書等の注意事項にしたがった正常な使用状態で本品の不良による著しい変形・破損・ゆるみ・はずれ・割れの故障が発生した場合には無料修理させていただきます。

2. 保証の期間

保証の期間は、お買い上げ日より起算し、1年間の経過日までとします。

3. 免責事項

次に該当する場合、保証期間内であっても保証対象外となります。

ただし、お客様のご要望により有料にて修理対応させていただきます。

- ① .お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことによる故障及び損傷等の不具合。
- ② .お買い上げ後の輸送または、移動時の落下など、お取扱いが不適当なために生じた使用上の誤り、お客様の改造による故障及び損傷。
- ③ .カタログ、取扱説明書などに記載されている以外の不適当な条件、環境、取り扱い、使用方法などに起因した故障の場合。
- ④ .弊社製品の改造及び弊社製品以外の製品を接続したことに起因する場合。
- ⑤ .弊社または弊社の指定業者以外が修理・改造したことに起因する場合。
- ⑥ .取扱説明書、カタログなどに記載されている消耗部品などが正しく保守交換されていなかったことに起因する場合
- ⑦ .自然特性または、通常の経年変化に起因する摩耗・退色・変色などによるもので使用上支障のないもの。
- ⑧ .使用に伴う摩耗等による外観上の不具合。
- ⑨ .海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の環境に起因する不具合。
- ⑩ .温泉水、井戸水などであって、飲料水の水質基準に適合しない水を使用したことに起因する不具合。
- ⑪ .火災・地震・水害・落雷・噴火・津波等その他天災地変などによる自然現象に起因し、被害をうけたもの。
- ⑫ .動物、昆虫等の生物の行為に起因する不具合。
- ⑬ .保証期間経過後に申し出されたもの、または保証該当事項の発生後すみやかに申し出のなかったもの。
- ⑭ .本書のご提示がない場合。
- ⑮ .本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

以上の内容は、日本国内での取引及びご使用を前提とします。

なお、この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

<連絡先>

お客さま相談室

☎ 0120-054-280 FAX 0120-054-281

● フリーダイヤル 9:00~16:00 (月~金) ● FAX 24時間毎日

矢崎化工株式会社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

介護支援ページ
kaigo-web

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北海道支店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東6条北8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 神奈川支店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 広島支店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 仙台支店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 静岡支店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 九州支店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

■ 関東支店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 名古屋支店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 東京支店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 大阪支店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

22062304

DW-288-02